

軽井沢オープンドアスクール設置に関わり、これまでにいただいた質問・意見・要望に対する事務局の方針

1 対象

- ①令和7年6月～9月 教育支援センター利用者、スクールサポーター(SS)等との面談実施者(児童生徒20人)
 ②令和7年7月8日に実施したワークショップへの参加者(児童生徒保護者16名+児童生徒3名)
 ③令和7年8月22日に実施したワークショップへの参加者(児童生徒6人)
 ④令和7年8月22日に実施したワークショップでの質問への面談やメールでの回答者(児童生徒2人)
 ⑤令和7年10月～11月頃 軽井沢町教育支援センターを利用した児童生徒(人数不明)

2 いただいたご質問・ご意見・ご要望と、事務局の方針

大項目	小項目	質問・意見・要望	事務局の方針
生徒募集	スクールコンセプト	・どういう学校を作っていくというように考えているのかを知りたい。	スクールコンセプト及び学校案内参照
	入学の条件	・募集要項などはあるのか。どういう子ならいいのか、定員なども何人くらいなのか。希望したら入れるのか。	学校案内6ページ参照
		・診断名や受給者証が必要等、入学の条件を知りたい。	
		・学びの多様化学校と聞くと「みんなが通っていい」という認識もできる。言葉だけ聞くと、診断がなくても、不登校でなくても、通えるように感じる。	
		・診断書がなくても支援級に入れる自治体もある。診断書がオープンドアスクールの利用条件になるのはどうなのだろうか？	
		・診断とってもメリットはない。すべての子どもに優しい学校であってほしい。	
	教育支援センターとの相違点	・町の学校として作ろうとしているが、学区はどうなるか。近隣の市町村はどのように対応していくのか。	スクールコンセプト及び学校案内6ページ参照 夜間中学コースは、近隣市町村など広域化を想定しています。
		・多様な学びの学校と普通の中学の両方通える(行き来)できるようにしてほしい。	学校案内5ページ参照
学校全体	居心地の良い空間	・時間が区切られていることが苦痛になる子もいる。また、一人になりたくても、みんながいる場所で過ごすことを強いられ、そこを離れる場合には許可が必要となる。指定された場所ではなく、自分がいた居場所で、リラックスできる場所があると、帰宅時のわが子の表情も今とは違うと思う。エネルギーを残して、笑顔でお家に帰ってこられる学校であってほしい。	スクールコンセプト「4 学びの姿」・「5 生活の姿」及び学校案内2～4ページ参照 今までにない新しい過ごし方や学び方ができる長野県初の中学校です。
		・親としては、子どもの安心・安全を確保してくれる環境に預けられるだけでも十分ありがたい。特別で優れたカリキュラムよりも、しやすい空間があってほしい。	
		・平和な学校がいい。	
	同調圧力からの脱却	・同じことをしなくちゃいけない感じが嫌だ。	
		・しゃべりたくないときしゃべる(補足:「みんなが手を挙げていたから手を挙げる→あてられる、のこらしいです」のは嫌だ。	
		・「当たり前」が嫌だ。	
	自立に向けた学び	・うちの子は、当たり前のこと(登校)が当たり前にできていないことへの罪悪感をかかえている(登校しないことで誰かに迷惑をかけているという意識もある)。そのため、学校を休んだ日に外出する際、子どもがコンソソしている。親も一緒にコンソソしなくてはならない。休んだ日に何をしてもコンソソしなくてよい学校が良い。みんながいる場所にいることが良いことで、いけないことが悪いこと。そのようなとらえ方をされない学校が良い。	
		・「行きなさい」と言うのをやめ、仕事もやめた。それにより親子で過ごす時間が多くとれるようになったら、うちの子は荒れなくなった。学力より生きるすべを学ばせている。自立できるための学び(衣食住の確保、ヘルプの出し方等)を得られる学校であると良い。	
		・比較される、評価のための学びではなく、生きるための活きた学びができるとよい。また、日本の学校は決められていることが多く、時間割もタイト。スローペースの子にとっては学ぶ前から疲れてしまう環境である。	
	その他	・社会を学べる場であると良い。将来を見据えて「こういう大人になっていければいいな」、「こういう環境で働きたいな」と具体的なイメージを持たせてあげたい。	
		・学力の評価をされる場だと辛い。スポーツが得意だが、文武両道を求められると、スポーツもあきらめなければいけないことがある。	
		・やりたい事とやりたくない事を選択できるといい。	
		・環境はハード面、ソフト面でどちらも充実していることが大切。人との縁も大切。選択肢を狭めないように。	
登下校	手段	・いろいろな子がいるので、みんなにいい学校というのは難しいのではないかな。	学校案内5ページ参照 通学方法の指定はありません。
空間や施設、備	教室配置	・(校舎の)作りが簡単な学校がいい。教室や各部屋に行く道が複雑だと覚えられない。	校舎は、軽井沢高校の北校舎です。
	教室への動線	・特別支援学級の教室に入るまで、在籍クラスや学年のクラスの前を通って自分の教室まで行かないといけないので、教室にいる生徒からの視線が嫌。登校したとき声をかけられるのも嫌。 ・とどろきにみられるのがはずかしい(補足:登校時(休み時間)、と話していました。遊んでいる子に見られたくないようです)。	本校(軽井沢中学校)とは別の軽井沢高校の北校舎を利用します。高校生とは、昇降口や主に過ごす場所が違います。

【資料4】

大項目	小項目	質問・意見・要望	事務局の方針
空間 や 施設、 備品	匂いへの対応	・学校のにおいが嫌。トイレのにおいが嫌。古いカビ?木の腐ったにおい?で頭が痛くなる。においを消してほしい。	可能な範囲で対応します。
	水分補給について	・水道は蛇口を共有することに(強い)抵抗がある。ウォーターサーバーを設置してほしい。きれいな水もそうだが、冬にお湯が飲めるという点でもいい(役場1階のサーバーのイメージ)。 ・蛇口からみんな水を飲んでる。自分は飲むのが嫌。口を蛇口につけている子がいて、それを見て水道から水を飲みたくなかった。 ・お金がかかるから、公民館の自販機のようなものじゃなくていい。	水筒の持参、自動販売機の利用ができます。
	新たな空間の要望	・学校の中で駄菓子屋みたいなのがあったといい。頑張ったらもらえるチケットでお菓子和交換できるのもいい。 ・頑張ったら頑張ったことに対して、報酬がほしい(商品券や物などでもいい。お菓子の交換でもいい)。 ・ゲームができる部屋が欲しい。 ・休憩スペースがほしい(今の学校ではそういう場所がない)。暗い所や寝られるところ。保健室とは別の部屋がいい。仮眠スペースがほしい。 ・静かな場所(うるさい人がいない居場所)がほしい。 ・ベッドやふわふわしたスペースがほしい。 ・カーテンや仕切りのある部屋。一人になれるスペース(「使用中」などの札があるといい)。 ・自習室があるといい。 ・自習室でイヤホン等を使って、音楽を聴きながら勉強してもいい時間があるといい。 ・(勉強するとき、空き教室があって)「この時間はこの場所を自由に使ってい」にしてほしい。	スクールコンセプト「5 生活の姿」参照 入学・転学後の生活については、生徒や教職員皆で考えていきましょう。 スクールコンセプト「5 生活の姿」及び 学校案内2～3ページ参照 一人で静かに休憩や自習ができる空間があります。 物へのこだわりがある場合は、その物を持参できます。 そのうえで、必要な備品等は、運営していく中で生徒の意見を聞き柔軟に対応していきます。
		・多目的トイレがほしい。 ・エレベーターやエスカレーターも、子供だって使いたい。 ・広い机や、かたくない椅子がほしい。 ・広いロッカーがほしい。 ・時間になったら起こしてくれるベッドがほしい。	多目的トイレはありますが、エレベーターやエスカレーターはありません。 スクールコンセプト「5 生活の姿」参照 備品については、生徒や教職員の意見を聞き柔軟に対応していきます。
	日課全体	・ゆっくりとしたペース(時間割、授業、給食)で過ごせる学校があるといい。今は早くて疲れる。 ・自分でちゃんと考えて決めていきたいのに、早すぎる。	スクールコンセプト「4 学びの姿」及び 学校案内3ページ参照 学校での過ごし方や時間の使い方について、生徒一人ひとりが考えて決定していけるようにします。 登校時間を遅らせ、ゆとりをもたせます。 基本の時間割はありますが、学校で過ごす時間は生徒が選択できるようにします。 1コマあたりの授業時間を40分とします。 授業の間の休み時間は短いですが、授業中に適宜休憩を取ってもかまいません。 昼食は、家庭と学校のどちらでとるかを選択できます。学校でとる場合は、その後の活動に合わせて自分で時間を調整できます。 家庭から持参した補食をとることもできます。
		・朝の時間(スタート)が早すぎる。 ・朝遅くて(登校して)、帰るのが(下校が)早いのがいい。 ・登校時間が9時ごろ。いつでも帰れるようにしてほしい。 ・うちの子は起立性調節障害で、とにかく朝に弱い。学校に通うには、昼と夜の中間が良かったりもする。その日によって登校時間が変わってもよい学校だと通いやすい。 ・中2～高3 起立性調整障害。先生がとてもいい先生で、配慮してくれていたで通うことができていた。軽高は単位制なので、単位さえとればいいのか助かった。今年の春に就職し、今は症状が出ていない。こういった子も見落とさないでほしい。 ・フレックスタイム制を取り入れたらどうか。学校生活のうちから、早めにそういった制度を体感させてあげられると良いのではないかな。 ・自分の今日の勉強(学びや課題)が終わったら、自由に帰宅したい。決められた時間に決められた学習をするより、早く終われば帰るみたいな…。 ・長い(学校の時間)。すぐ夜になっちゃう、14時ごろがいい。 ・午後3時ごろの下校がいい。 ・15:00～20:00とかは嫌だ。夜は嫌。	
		・授業1コマの長さ ・時間割もだけど、1コマを45分程度にしてほしい。(授業が)長すぎて意識が飛んでしまう。 ・授業(1コマ)が45分は長い。	
		・1時間目は遊ぶ時間がいい。ゆったり過ごしてから授業が始まってほしい……(体を動かす遊びとか)。1時間目からの算数はきつい。 ・2時間目休み(15分あるが、移動時間があるため短くなってしま)うがない方がいい。 ・休み時間が5分や10分は(休めない)ので嫌だ。休憩がほしい。 ・4時間の後に給食なのが困る(補足:おなかすいちゃう。早く帰りたいので、おやつ時間よりはこっちがいい)。 ・給食の時間をもう少し伸ばした方がいいと思います。はいぜんをする人をあせらせると、より遅れにもつながるし、時間をかけたら残さず全て食べられるという人もいます。なので給食の時、給食を食べはじめるまでの時間をのばした方がいいと思いました。 ・昼の時間を長くしてほしい(配膳準備を除いて1時間にするか、配膳準備がない弁当にしてほしい)。 ・6時間は長い。 ・昼寝の時間がほしい。 ・5時間目の前に、15分程度の仮眠時間がほしい。仮眠が苦手、または必要のない人は、静かに自由に過ごす時間でもいい。 ・5時間目の体育はきつい。5時間目は、ゆるい教科がいい。6時間目は、いらない。 ・幼稚園のように「遊びながら勉強する」という環境が良かった。この時間、頑張ったら遊べるみたい。	

【資料4】

大項目	小項目	質問・意見・要望	事務局の方針
学習	授業時数	・全部（授業時数）70時間がいい。残りの時間は自由な時間や読書の時間など。 ・せめて100越えの（各教科の授業時数）90程度にしてほしい。 ・自分のための勉強だから、（このままの時数で）いいと思う。6時間授業は長いと思うけど。 ・数学は半分がいい。	学校案内4ページ参照 通常の中学校に比べてゆとりをもたせています。
	個別最適への対応	・海外のように柔軟に対応していけるといいのではないかと（飛び級や下の学年に下がって等）。子どもは一斉に成長しているわけではないので、その子にあった指導を検討していく必要がある。 ・ゆっくり勉強ができる授業（ペースが早すぎるので、自分の時間で学べるという）。 ・今、個人一人ひとりのことを考えて、授業等自分のペースでできているのがいい。 ・個別の学習にしてほしい。個人の学力に合わせた進度。個別の学習計画があるといい。 ・個別の学習計画、自分で決めた時間割、1年間を通してやってもいい。 ・1週間前とか、半年前に時間割を選ぶ（単位制のような）。 ・クラスはあっていいけど、その場所をホームにして、自分のレベルに合った授業を受けるシステムがいい。 ・理解力が高い子もいると思われるので、学習もどのようにしていくか検討が必要ではないか。 ・一人ひとりが学ぶ内容が違えばいい。みんな違うから。 ・学ぶ教科や内容を選択できるのが良い（これをしなきゃいけない、が嫌だ）。 ・自分が知りたいことを勉強したい。自分が学びたいことを授業でやってほしい。	スクールコンセプト「4 学びの姿」及び学校案内5ページ参照 自分のペースで、自分の興味関心に応じて学習を進められます。
	他の生徒との関わり	・隣の人に点を書いてもらうのが嫌だ。 ・円になってみんなで話す（話さなきゃいけない雰囲気や、自分が人から見られるのが嫌だ）。	個々の生徒の希望や状況に寄り添います。
	オンラインへの対応	・ゲームの中で授業をする（タブレット・PCを使って）。 ・ゲームで授業するのなら何がいいか…VRとか（3Dだと画面酔いしてしまう人がいるかも）。 ・ゲームで学校に行けたら（メタバース）行きやすい。 ・バーチャルで通う学校（マイクラとかVRチャットとか）。家から出なくて済む。勉強はしたくない。 ・自分の子が、完全不登校になった際、オンラインでは学校と繋がれた。オンラインなども検討した方がいいのではないかと。 ・フリースクールも行ったが、学習に関しては自分の居場所ではないと言っていた。中学生になったが、午前中は体調が悪く学校に行けない時もある。こういう子のためにもオンラインなど考えてほしい。またオンラインであれば教室ではなく、別室で授業を受けることもできる。学校が良くて行くことができない、場所に入れないという子もいるのでぜひ考えていただきたい。	学校案内2ページ参照 授業のオンライン配信は実施していきます。メタバースについては、県教委による支援事業に参加しており、その活用のしかたについては、今後検討していきます。
	主体的に取り組める学習への要望	・ずっと座って話を聞くだけの授業はあまり良くないと思います。もっと色々なことをするべきだと思います。座りすぎてお尻が痛い。活動の中に学びがあるのが良い。 ・座学で5教科を学ぶのではなく、動きながら、しゃべりながら学びたい（授業中にしゃべっちゃいけない、が嫌だ）。 ・授業が楽しいといい。実験とか、実際に自分でできる授業がいい（先生の話ばかりだとあきて最後落書きしちゃう→つまらない）。 ・飽きる授業はやめてほしい。教室を出ていかせない面白い授業をしてほしい。 ・図工は、自由に（工作、作成等）できないから嫌だ。「こうしろ」という指示や「こんな風に作成する」といって指示されることが多い。 ・図工はマジ。設計図描きながらやるのがめんどくさい。 ・（図工室などに）もっといろんな機械があるといい。工作は嫌いじゃない。自分の好きなものを作りたい。 ・やる事が決められていることが辛いと感じている。提案してくれるのはありがたいが、興味を持てなければやりたくない。ある程度の規則や制限は必要だが、制限と自由が半々くらいだと通いやすい。 ・うちの子はよく、「こっちは教えてくれて頼んでない!」と言っている。 ・勉強はやりたければやればよいくらいの雰囲気があり、生きていく力をメインで学んでいけると良いのではないかと。うちの子は家庭のそういった環境で過ごす中で、自然と「算数をやってみよう」と自発的に取り組むようになった。	スクールコンセプト「4 学びの姿」及び学校案内5ページ参照 学校としての年間学習計画をもとに個々の生徒が自分のペースや興味関心に応じた学習計画を立て、それにもとづいて学習を進めています。
	学習や活動の形態	・ずっと「静かにしましょう」という感じではなく、静かな時間とざわざわの時間がどちらもあっていい。程よくざわざわ。うるさいのも嫌、静かすぎるのも嫌。 ・静かな時間の方が、僕はいいと思う。 ・話し合いの（授業）時間は、苦手（無理）。	スクールコンセプト「4 学びの姿」参照 自分で居場所や活動を選択・決定しながら学べるようにします。
	学習や活動の内容	・モーター使って電車とか作りたい。鉄道模型があってそれで遊べる学校がいい。 ・まる一日美術だけの日がほしい。 ・iPadで絵をかける授業があるといい。 ・体育で野球やりたい。 ・受けられれば何でもいい（英語以外で）。 ・英語の授業が嫌だ。英語をなしにしたら評判がよくなると思う。 ・道徳ではなく、マナー（人付き合いや公共の場でのマナー）を学ぶ授業があるといい。 ・音楽は今の音楽を扱ってほしい。 ・パソコンを覚える授業があるといい。	学校案内4ページ参照 新設教科や総合的な学習の時間は、体験や経験を重視し、それらを既存の教科の学びにつなげられるようにします。そのなかで、英語にも興味をもてるようになると良いですね。
	宿題	・長期休みに宿題なしがいい。	学校からの宿題（課題）は、長期休みを含めどのようにするか、生徒や教職員で考えていきます。
	テスト	・テストや再テストが嫌だ。	どのようにするか、生徒や教職員で考えていきます。

大項目	小項目	質問・意見・要望	事務局の方針
生活	生活全般	・いつも変わる事が好きじゃないかも。(慣れていない事はあまりしたくない)	スクールコンセプト「4 学びの姿」参照 生徒がそれぞれのペースで学んだり、過ごしたりすることができるようにします。
	人間関係全般	・(学校の友達関係は)良好。友達関係は、今のままがいい。だから新しい学校に移動するのは、今の友達に申し訳ない。 ・新しい環境になるにあたり(中学校へ進学したとき)、友達が(クラスに)いるのか不安(不安があった)。 ・知らない人との関わりが増えることに、不安がある。 ・友達関係は気にしていない。誰と同じクラスになりたいとかはない。 ・友達作りを間違えたら大変。「ぼっち」感覚は、嫌。 ・友達を一からつくるのがめんどくさい。仲良くしたい人だけ、仲良くしたい。 ・騒いでいる子がいると怖い。(学級内で)騒ぐ子の対応をしてほしい。	自分のペースで人間関係を築いていけるようにします。 新設教科「ヒューマンタイム」の中で、人との関わり(SST)についても、体験や経験を通して考える機会を設けます。
	異年齢との関わり	・主に過ごす集団が同学年であるため、比較されることが多い。インドネシアの学校は、クラスが低学年と高学年で分けられているだけで、異年齢の環境でやりたい学びに取り組んでいた。 ・縦割りが嫌(苦手)。 ・縦割り給食と縦割り掃除が嫌だ。	異年齢との関わりのあり方については、自分のペースで決めていきます。
	個の時間	・一人での時間が少し少ない気がする。	スクールコンセプト「4 学びの姿」及び「5 生活の姿」参照 一人ていられる時間と場所もあります。
	校内のルール	・校則ややり方が細かく、疲れてしまう。 ・(授業中に)トイレに行くことを申告しなくてもいいようにしてほしい。 ・(授業中に)立ち歩いたり教室を出て行ったりしてもいいことにしてほしい(行き先は、先生に伝えて)。 ・休み時間は好きなゲームができる。 ・おやつがあるといい。 ・自分が好きなものや落ち着くものを学校に持って行ってもいいことにしてほしい。 ・iPadを学校全体で使えるようにしてほしい。 ・スマホOKとか、高校みたいな規則がいい。 ・制服が嫌だ。 ・制服だけの指定が嫌だ(私服も制服も選べるという)。 ・さまざまな校則(スカートの長さの指定、時間に厳しすぎる、ペットボトル禁止、買い食い禁止の校則)は嫌だ。 ・生徒たちだけの話し合いがもっとあつたらより良い学校になると思います。	スクールコンセプト「5 生活の姿」及び学校案内2ページ参照 校則はない状態でスタートし、必要になった場合は、入学・転学後に生徒と教職員で話し合っていきます。
	給食(昼食)	・給食に寿司があるといい。 ・給食は嫌いなものが出る。弁当または給食の選択ができるといい。 ・給食ではなく弁当がいい。 ・(配膳や給食時の)エプロンが嫌だ。忘れたときに悪目立ちする。 ・教室で給食を食べなければいけないというのが嫌だ。自分の好きな所で食べたい。 ・みんなで準備しないといけないのが嫌だ。購買みたいにお弁当の形で配布がいい。 ・ランチルームで給食食べるのが嫌(縦割り、ザワザワしている)。	学校案内5ページ参照 給食の提供や業者の弁当の注文等、生徒の希望を聞きながら個別に対応していきます。家庭でとることもできます。
	行事	・修学旅行のおこづかいが少ない。 ・〇〇祭がめんどくさい(準備、みんなでやるのも大変)が嫌だ。 ・文化祭がただの合唱祭になっているのが嫌だ。体育祭、強制しないでほしい。 ・文化祭で屋台があるといい。 ・行事(ハロウィンパーティー、お楽しみ会、ゲーム大会、マリカー大会)中学校にある大きなTVを集めて、みんなでマリカーをしてみたい。 ・中学校になると、小学校でクラスごとに行っていたお楽しみ会がなくなる……。中学校でもクラス単位で「お楽しみ会」的なことをやりたい。 ・講演会(進路指導みたいな)は、子どもから興味関心のある職業を聞き取り、その道のプロや一流の人から話を聞きたい(例えば有名な声優さんとか)。今の講演会はずまらない。 ・自分たちが観戦したいスポーツをグループに分かれて(遠足として?)観に行く。 ・授業参観が嫌だ。	スクールコンセプト「5 生活の姿」及び学校案内5ページ参照 入学式と卒業式以外の行事の実施については、入学・転学後に生徒と教職員で話し合い、決めていきます。
	行事以外の活動	・モーター使って電車とか作りたい。鉄道模型があつてそれで遊べる学校がいい。 ・ゲームやりたい(みんなで、クラス中でやりたい)。 ・校長先生の長い話が嫌だ。	スクールコンセプト「5 生活の姿」参照 入学・転学後に生徒と教職員で話し合つて決めていきます。
	休日	・月曜日は学校はない方がいい。	祝日の関係で実現できる日もありますが、全てを休日にするのは難しいです。

大項目	小項目	質問・意見・要望	事務局の方針
教職員（スタッフ）全般	教職員（スタッフ）全般	・「学びの多様化学校」ができることは素敵なことだとは思いますが、先生（スタッフ）の働き方も考慮いただきたい。ボランティアなどの関わりも必要なのではないか。期待と不安がある。	スクールコンセプト「6 教職員」参照 長野県教育委員会と教職員の配置等について相談しています。教職員以外にも、さまざまな人との交流を目指していきます。
		・様々な子が来るとなるとスペシャリストの先生を呼んだりしないといけないのではないか。そのようなところを整えないと大変なのではないか。	
		・学校の中で先生でもなく生徒でもない、話す相手がほしい（例えば、ゲームのこと等）。	
	生徒との関わり	・学校という場所で、先生だから、学校だから、従わなければいけないという意識がある。大人だからということではない。	スクールコンセプト「6 教職員」参照 教職員は、生徒の伴走者という位置付けをしています。 教職員は、生徒と対話する時間を多く確保します。
		・先生によっては、話が入ってこない先生もいる。	
		・おもしろい先生や、のりのいい先生がいるといい。	
		・教えてもらう先生を選ぶようにしてもらえたら最高。途中交代もあり。	
		・怒鳴って怒るのはやめてほしい。普通に「ダメでしょ」と言えば分かる。	
		・先生が怒鳴っているのをみて怖くなり、クラスにいられず不登校になった。喋らないが、みんなと一緒にいたいと思っているようだ。	
		・みんなの前で怒られるのは嫌だ。それで不登校になったといっても過言ではない。	
		・上から目線とか人の前で怒るとか、（先生を）情けないなって思う。	
		・大きい声で怒られるのも、無言の圧力をかけてくる怒り方も嫌だ。でも、怒らないのも嫌だ。	
		・悪いことははっきりと言ってほしい。遠回しの言い方は、嫌だ。	
		・大きな声で怒ったり圧をかけたりするのではなく、理由や考えを聴き、頭ごなしに怒らない。こうすればよかったね、次はこうしようというように（カードなどで）教えてほしい（支援級の先生はしてくれた）。	
		・個別に個室で叱ってほしい。叱り方も手順をふんで（問いかけながら）叱ってほしい。	
		・連帯責任が嫌だ。	
		・気分や感情で先生の態度が変わるのが嫌。プチ切れないでほしい。	
		・人間的な先生じゃない先生は嫌だ（人間性のない人や人権感覚のない先生は嫌だ）。	
		・先生と生徒の会話について、授業中や授業以外でも、先生が生徒の気持ちをもう少しわかってあげるといのが大切だと思います。もちろん、先生が生徒に怒鳴るのも違うし、生徒が先生に文句を言うのも違うと思います。なので、先生も生徒も相手の気持ちをしっかりわかってあげるといのはあらためて大切だなと思いました。	
		・中学生になったからこうしなさいっていうのは変だし、戸惑った。それなら小学校から話をしておいてほしい。先生の生徒への接し方や言葉遣いが小学校と中学校と違って驚いた。	
		・中学生になると急にハードルがあがる。対応が大人対応になり、小学校まで一緒に考えてくれたのが自分で考えようになる。自分の意見を言うように言われても言えない。年齢ではなく、その子自身を見て対応をお願いしたい。	
		・学校に（相談やお願いを）言っても何も改善されない。	
	労働環境	・先生がリラックスできる環境があるといい。	
相談体制	保護者から	・家庭にも学校から、不安ごとを解消できるような介入など、アプローチしてほしい。	スクールコンセプト「6 教職員」参照 スクールカウンセラーやスクールサポーターへの相談体制を整えます。また、必要に応じて保護者が情報共有できる機会も検討していきます。
	保護者間	・保護者の横のつながりがほしい。	
卒業後	進路	・オーブンドアスクールに通った子の出口はどのようになっていくのか。	学校案内5ページ参照 個々の生徒の希望に応じて支援します。
その他	既存校への対応	・既存校についてはどのように考えていくのか。並行して考え整えていかないとみんなオーブンドアスクールに通いたくなるかもしれない。 ・今いる先生を大切にしながら、今の環境の整備を柔軟にしてもらった方がいい。マンパワーが必要であれば、ボランティアなども募ってほしい。	軽井沢オーブンドアスクールの設置と既存校の魅力化を並行した「『私たちの学校』づくり」を継続していきます。